

2020年3月期 第1四半期

# 決算説明会資料

---

株式会社インターワークス（東証一部 6032）



1

**2020年3月期 第1四半期 業績概要**

2

**2020年3月期 第1四半期 セグメント別比較**

3

**2020年3月期 第2四半期 足元の状況**

4

**Appendix**

# 1 2020年3月期 第1四半期 業績概要

- ✓主力のM&S事業の業績を反映し、連結では減収減益
- ✓他方、採用支援事業の構造改革の成果により売上総利益率が向上

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期		2020年3月期 第1四半期		増減額	前年 同期比
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,042	100.0%	902	100.0%	(139)	86.6%
売上原価	371	35.6%	312	34.6%	(58)	84.3%
売上総利益	671	64.4%	590	65.4%	(81)	87.9%
販売費及び一般管理費	556	53.3%	572	63.4%	16	102.9%
営業利益	115	11.1%	17	2.0%	(97)	15.4%
経常利益	115	11.1%	16	1.9%	(98)	14.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	76	7.4%	2	0.3%	(74)	3.2%

1

2020年3月期 第1四半期 業績概要

2

2020年3月期 第1四半期 セグメント別比較

3

2020年3月期 第2四半期 足元の状況

4

Appendix

## 2-1 2020年3月期 第1四半期 業績概要（セグメント別）

- ✓ M&S事業は、一部の大手企業の採用意欲低下と求人企業への提案不足により減収減益
- ✓ 人材紹介事業は、工程管理の不足により、増収であるものの減益
- ✓ 採用支援事業は、採用戦線の早期終了に伴い減収となるも、前期の構造改革の成果により増益

(単位：百万円)

		2019年3月期 第1四半期		2020年3月期 第1四半期		増減額	前年 同期比
		実績	構成比	実績	構成比		
		売上高	連結	1,042	-		
M&S事業	465		44.6%	363	40.3%	(101)	78.1%
人材紹介事業	259		24.9%	264	29.3%	4	101.9%
採用支援事業	317		30.4%	274	30.4%	(42)	86.6%
営業利益	連結	115	-	17	-	(97)	15.4%
	M&S事業	99	86.6%	2	14.8%	(97)	2.6%
	人材紹介事業	21	18.7%	7	39.8%	(14)	32.9%
	採用支援事業	(6)	▲5.3%	7	44.9%	14	-

- ✓ 一部の大手企業の採用意欲低下により取引額が減少したことで、減収減益
- ✓ 求人企業への提案不足により掲載社数の拡大には至らず

### 営業戦略

## 掲載社数の拡大

FY2017からの戦略投資により、FY2018以降、工場ワークスの応募数は堅調に推移。当期は前期から続く応募数増を背景に、掲載社数を拡大させる。

### 1Q 実行結果

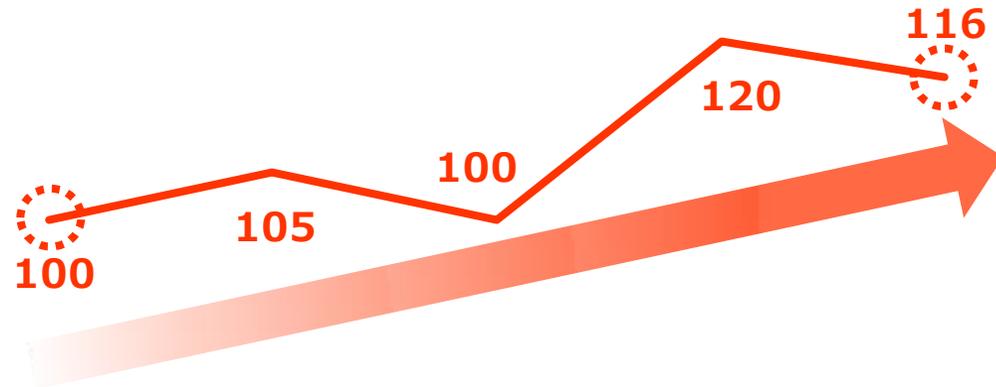
顧客セグメント	営業戦略	結果	備考
大手製造派遣会社	取引社数・取引額の継続	▲	一部顧客との取引額の減少
中堅・中小規模の製造派遣会社	掲載社数の拡大	▲	求人企業への提案不足
メーカー	掲載社数の拡大	▲	求人企業への提案不足

掲載社数の拡大が実を結ぶ前に、一部の大手製造派遣会社との取引額が減少したことが減収の大きな要因。掲載企業にとってのメディア価値は高まっている<sup>(※次項)</sup>ことから、営業戦略は2Q以降も継続し掲載社数を拡大することで、特定顧客に依存しない売上基盤を構築する。

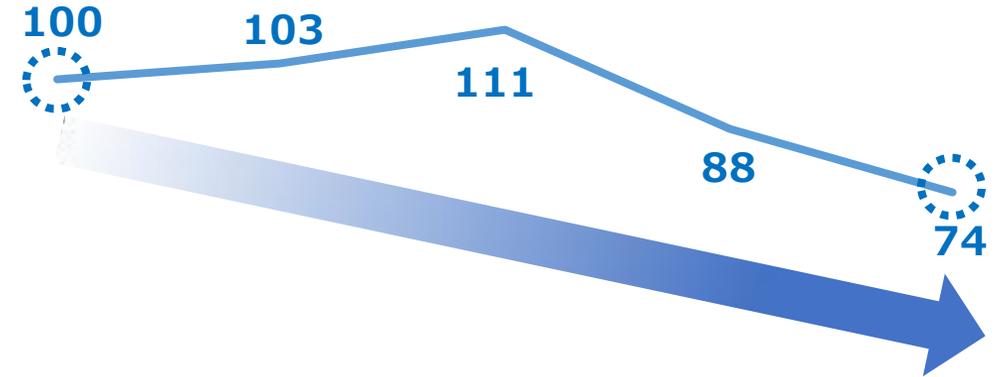
## 2-3 各事業の状況 (M&S事業\_2)

- ✓ 主力の工場ワークスの応募数は前年同期比115.8%と堅調
- ✓ CPAは前年同期比73.8%と良化しており、効果的な応募獲得を実現

➤ 工場ワークス 応募数 (FY2018 1Qを100とした場合)



➤ 工場ワークス CPA<sup>(※)</sup> (FY2018 1Qを100とした場合)



(※) CPA : Cost Per Acquisition

**掲載企業にとって、工場ワークスのメディア価値は高まっている**

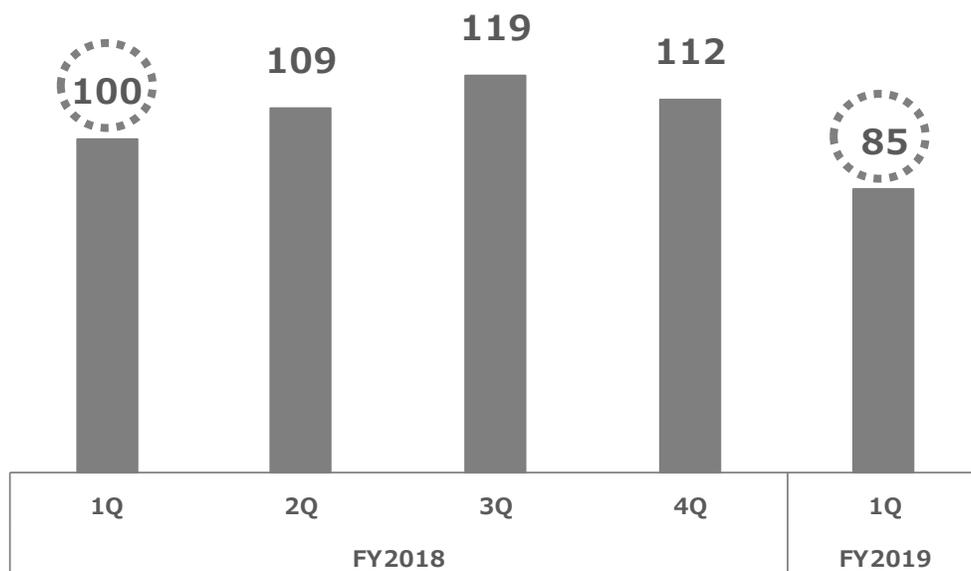
- ✓ 工程管理の不足により、成約件数は前年同期比84.7%
- ✓ 他方、成約単価は前年同期比114.4%であり、前期から堅調に推移

### 営業戦略

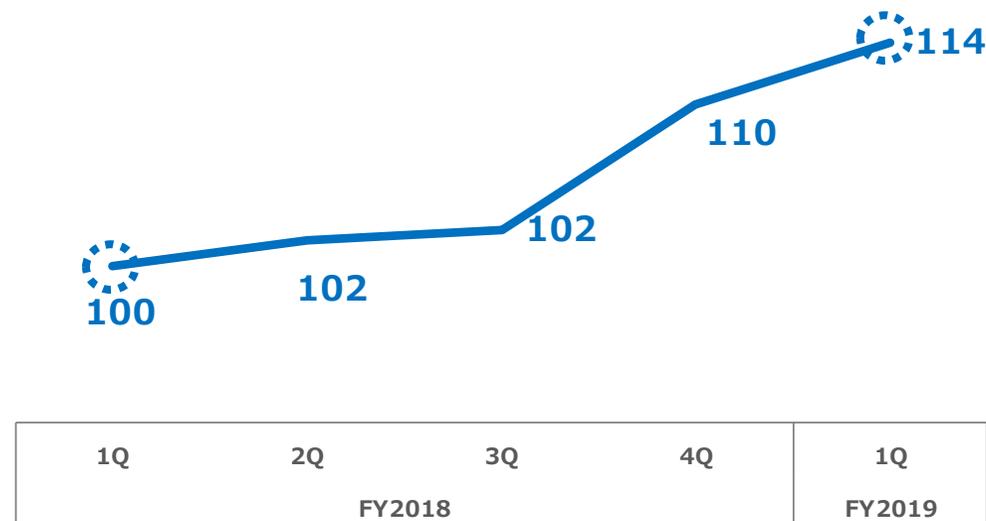
## 成約件数の拡大

前期に年収ターゲットを明確にした事業展開を行ったことで、成約単価のUPを実現。今期はその単価水準を維持しつつ、成約件数を拡大する。

➤ 成約件数（FY2018 1Qを100とした場合）



➤ 成約単価（FY2018 1Qを100とした場合）



### 1Q 実行結果

- ✓ 事業の基礎数値である「保有求人数」は前年同期比189.2%、「推薦数」は同162.0%、「一次面接数」は同107.5%と増加
- ✓ マーケットは堅調であるが、工程管理の不足により実績数が減少

➤ FY2018 1Qの各指標の数値を100とした場合

		FY2018 1Q	FY2019 1Q	備考
マーケット	保有求人数	100	189	マーケット（求人企業）は堅調 
	推薦数	100	162	マーケット（個人）は堅調 
オペレーション	一次面接数	100	108	増加 
	内定数	100	79	工程管理不足による減少 
	成約件数	100	80	工程管理不足による減少 

- ✓ 前期の構造改革の成果により、粗利率が計画以上に向上
- ✓ 採用戦線の早期終了に伴い、21卒新卒採用のインターンが前倒しでスタート  
受注が好調に進捗

### 営業戦略

#### 直販

- 新卒採用のインターン時のOS獲得
- 新規顧客の開拓、既存顧客への深耕営業
- HR-Technologyによるコスト削減（粗利率向上）

#### 代理店

- 新規顧客の開拓

### 1Q 実行結果

#### ➤ 粗利率

	FY2017	FY2018	FY2019	
	実績	実績	計画	実績
1Q	42.2%	34.4%	47.6%	<b>50.5%</b>
2Q	36.3%	47.6%	47.6%	-
3Q	32.3%	48.2%	48.2%	-
4Q	53.0%	45.6%	48.2%	-

#### ➤ 受注状況

- 前期は出遅れた、**新卒採用のインターン時のOS獲得が順調。**
- 前期並みで計画している**従来型アウトソーシングサービスにおいて、代理店経由で大型の新規受注を獲得。**

1

2020年3月期 第1四半期 業績概要

2

2020年3月期 第1四半期 セグメント別比較

3

2020年3月期 第2四半期 足元の状況

4

Appendix

#### M&S事業

- ✓ 大手製造派遣会社との取引額が回復傾向
- ✓ メーカーとの直接取引、中堅・中小派遣会社の開拓に注力

#### 人材紹介事業

- ✓ マーケットは堅調であるため、基礎数値の増加を継続しながら工程管理を徹底することで、成約件数の拡大に注力

#### 採用支援事業

- ✓ 新卒採用のインターン時のOSの受注が堅調
- ✓ 代理店経由でのアウトソーシングサービスの大型受注が拡大

1

2020年3月期 第1四半期 業績概要

2

2020年3月期 第1四半期 セグメント別比較

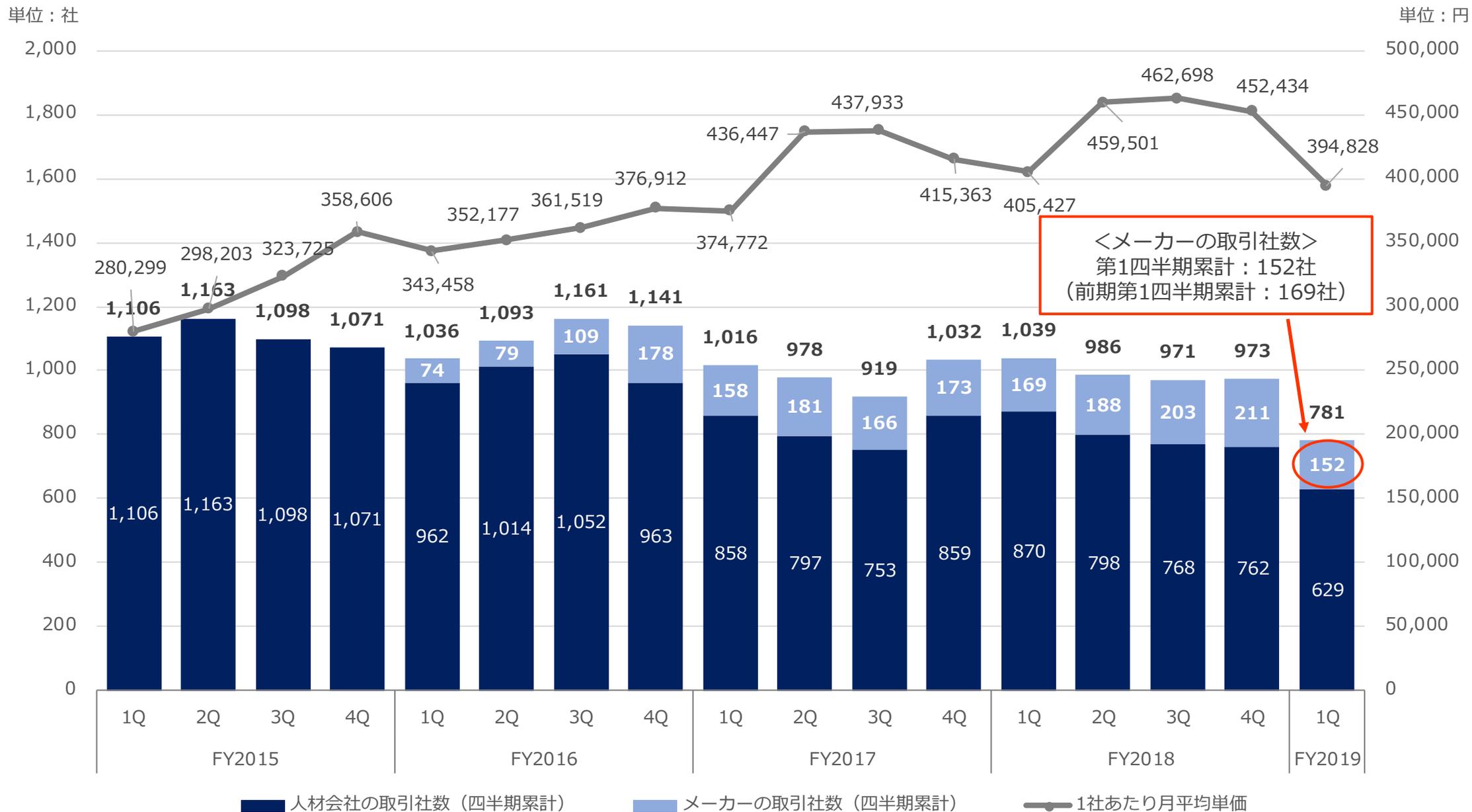
3

2020年3月期 第2四半期 足元の状況

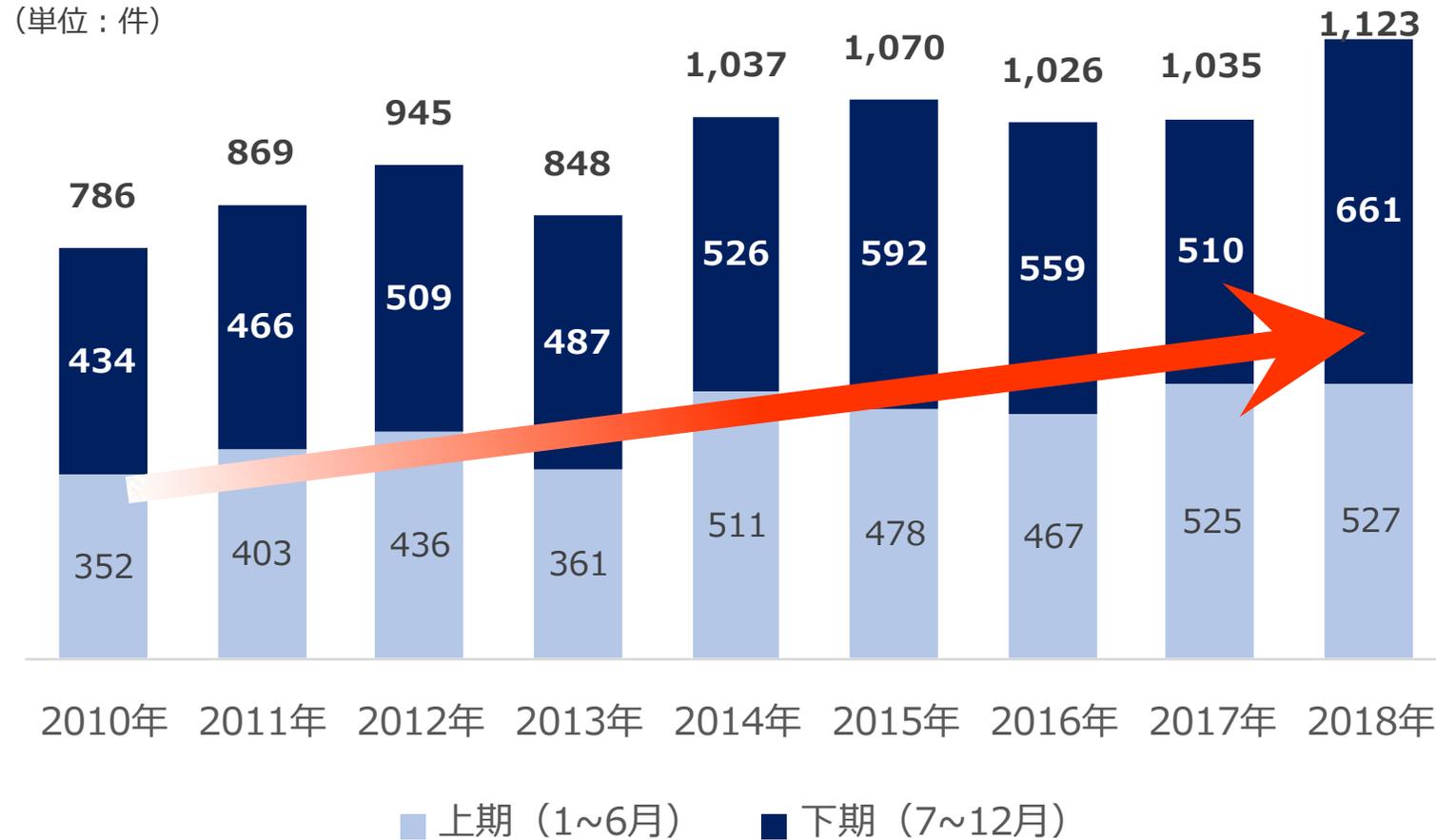
4

Appendix

# <参考> 工場WORKS 1社あたり単価/取引社数



✓ 工場立地件数は前年比8.5%の増加と堅調に推移  
→ 工場ワークスの外部環境は引き続きポジティブ



出典：経済産業省「工場立地動向調査」

この資料は、株式会社インターワークス（以下、当社）の現状をご理解頂くことを目的として、2019年08月01日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成したものです。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料にはいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測、及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場環境、金利、通貨・為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来にリスクイベントが発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。